

## シラバス情報

1 ページ

科目情報						
科目名称	地域再生概論		配当年次	1	授業コード	A220240001
			単位数	2.0	科目分類	教養科目
開講年度	2021	開講時期	前期授業	ナンバリングコード	FLCNI1318-J1	

代表教員情報	
(カナ) 教員氏名	( ツボウチシンジ ) 坪内 伸司

担当教員情報		時間割情報	
坪内 伸司	大塚 耕司	金曜2コマ	B3-206
伊藤 康人	三宅 孝昭		
中谷 直樹	他		

メールアドレス等連絡先	オフィスアワー
tsubouti@las.osakafu-u.ac.jp	坪内 伸司 火曜日12:10~2:50 B3-514

授業目標
<p>人がその生活の基盤とする「地域」には多様な問題や課題が存在し、これらは時間の経過や環境・状況の変化によって様々な姿を変えていく。「地域再生概論」では、こうした「地域」（特に、大学の立地する大阪府・堺市）における複合化した「課題」や「問題」を、どのように解決していくかを具体的な事例を通して学んでゆくことを目標とする。具体的には以下の能力を身につけることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 地域の課題や問題をどのように解決していくかを説明できること。</li><li>2. 主体的に地域再生（地域課題の解決）に向けて取り組む姿勢を説明できること。</li></ol>

教科書
授業の中で適宜資料を配布する。

参考書
授業の中で適宜紹介する。

関連科目
地域実践演習

## 授業時間外の学習

授業に関連する資料を事前に調べるとともに、学習した内容を復習する。

## 授業概要

CR副専攻のテーマである「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実現」の趣旨や目標、大阪府下の地域の諸課題と再生戦略について概説する。また、「地域実践演習」を担当する教員、地方自治体や他大学の関係者が、地域再生の実践事例についてオムニバス形式で講義を行う。

## 成績評価

授業目標の1、2の達成度で成績評価を行う。単位を取得するためには、  
1. 地域の課題や問題をどのように解決していくかを説明できること。  
2. 主体的に地域再生（地域課題の解決）に向けて取り組む姿勢を説明できること。  
の2点を達成することが求められる。成績は、各授業の終了時に課す「小レポート」(65%)、中間および最終に課す「まとめレポート」(35%)で評価する。

## 備考

環境学副専攻あるいはCR副専攻の修了を強く希望する学生へ  
教養科目抽選に外れた場合、志望理由を別途審議の上、受講を認める場合があります。  
(受講申請期間内に限る)

詳しくは教育推進課（A3棟・2階）教育企画Gまで問い合わせください。

なお授業計画の内容は予定を含んでいます。講師その他の都合により、日程、講師、講義内容が変更になる場合があるので注意してください。変更する際は、できる限り早く通知します。

Covid-19感染拡大状況での授業実施形態・内容・予定が変更になる場合があります。  
その際は、改めてお知らせします。

## URLリンク

URLリンク 1

URLリンク 2

URLリンク 3

## 授 業 計 画

第1回: ガイダンス、本講座の趣旨とCR副専攻の概要

○地域再生の事例: オムニバス形式で、「地域実践演習」の担当者や、外部講師(ゲストスピーカー)が、各地域での活動の背景や内容、これまでの実績等について講義する。

○大学や自治体の取り組み事例: オムニバス形式で、他大学や地方自治体の担当者がそれぞれの地域再生への取り組み事例について講義する。

<参考資料> 【2020年度授業概要】 Covit-19感染症対策のため回数減

第1回 ガイダンス、本講座の趣旨とCR副専攻の概要: 坪内 伸司

第2回 地域再生の事例(1) 「地域と社会を見るまなざしのデザイン」: 花村 周寛

第3回 地域再生の事例(2) 「大阪湾における次世代漁業の検討」: 大塚 耕司

第4回 地域再生の事例(3) 「地域の未来を考える」: 特定非営利活動法人SEIN 湯川 まゆみ

第5回 地域再生の事例(4) 「地域リソースを用いた環境教育プランニング」: 中谷 直樹

第6回 中間テスト(まとめレポート): 坪内 伸司

第7回 地域再生の事例(5) 「竹堆肥を使った有機栽培実験を通じた体感型演習」: 東條 元昭

第8回 地域再生の事例(6) 「地域に住み、地域で働く を増やすために」:

(株) いろあわせ・北川 雄士

第9回 地域再生の事例(7) 地域に住み、地域で働く を増やすために」:

(株) いろあわせ・北川 雄士

第10回 地域再生の事例(8) 「地域を活かすスポーツ振興策のデザイン」: 坪内 伸司

第11回 地域再生の事例(9) 「漂着ごみから考える人と自然のかかわり」: 千葉 知世

第12回 地域再生の事例(10) 「大学における取り組み事例」 和歌山大学: 佐藤 祐介

第13回 本講義のまとめ・テスト(まとめレポート): 坪内 伸司

## シラバス情報

1 ページ

## 科目情報

科目名称	地域を活かすスポーツ振興策のデザイン（地域実践演習）	配当年次	1	授業コード	A220230004
		単位数	2.0	科目分類	教養科目
開講年度	2021	開講時期	後期授業	ナンバリングコード	FLCNI1317-J2

## 代表教員情報

(カナ) 教員氏名	(ミヤケタカアキ) 三宅 孝昭
--------------	--------------------

## 担当教員情報

三宅 孝昭	
坪内 伸司	

## 時間割情報

木曜 2 コマ	B2-302		

## メールアドレス等連絡先

tmiyake@las.osakafu-u.ac.jp tsubouti@las.osakafu-u.ac.jp
---

## オフィスアワー

火曜日、12時10分～12時55分
-------------------

## 授業目標

<p>スポーツの実践は、健康の維持向上、さらには増進を目的としているばかりでなく、スポーツを通じたコミュニケーション育成も重要な役割を果たしています。スポーツを通じたコミュニケーション育成は、教育現場ばかりでなく、地域を活性化させる手段として、数多くの地方公共団体に実践され、様々な効果が得られています。しかしながら、地方公共団体が開催するスポーツ実践の参加者が急増しているわけではありません。スポーツ基本法が制定、施行され、スポーツに対する関心がますます高まっている中で、どのようなスポーツ振興が、自治体および住民にとって有意義かつ意味のあるものなのかについて自治体、地域住民、そして学生と共に探求していくことを目標とします。</p>
--

## 教科書

特に指定せず、必要に応じて、資料を配布します。
-------------------------

## 参考書

「スポーツ基本法」日本スポーツ法学会（編）成文堂 新しい健康教育、日本健康教育士養成機構編著、保健同人社 地域高齢者の体力および生活活動の測定と評価、出村慎一監修、市村出版 地域高齢者のための転倒予防－転倒の基礎理論から介入実践まで－、出村慎一監修、杏林書院
--

## 関連科目

地域再生概論 地域スポーツ振興（アゴラセミナーⅠB）
-------------------------------

## 授業時間外の学習

国民に親しまれているスポーツとそうでないスポーツ種目について、メディアを通じて調べ、それらの原因について探求することを期待します。  
スポーツの世代間交流について、地域スポーツ振興でどのような策が講じられているのかについて調べ、世代間交流の利点と欠点について、探求することを求めます。  
障がい者スポーツについて、スポーツを行っている場面などに遭遇する機会はほぼ少なく、きっかけを作りにくいのが現状です。それらの現状をについて調べることを期待します。

## 授業概要

平成27年10月に設置されたスポーツ庁の理念には、スポーツを通じて「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができる社会」の実現を目指す(スポーツ基本法:平成23年制定)ことをふまえ、スポーツを通じた健康増進施策や地域におけるスポーツ活動の推進を掲げている。  
スポーツを通じた健康増進を図るにあたっては、スポーツ参画人口の拡大が不可欠である。また、スポーツにより、健康な生活と長寿を受け入れて楽しむことのできる健康長寿社会を構築するためには、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる環境整備が重要であり、さらなる取り組み強化が求められている。

現在、地域で行っているスポーツ振興について、施設見学や実際に参加し、今後の地域を生かすスポーツ振興に役立つものを、実体験を通じて感じ問題提起できる材料の提供を試みる。

## 成績評価

演習科目であるので、平常点(60%)、レポート(30%)、および積極性の評価:「学外での体験」(10%)、で評価します。

## 備考

「地域実践演習」の履修に当たっては、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に加入することを条件とします。(羽曳野キャンパスはW112に加入) 学生課学生サポートグループ(羽曳野キャンパスは事務所・学生グループ)において手続きしてください。  
Covid-19感染拡大状況での授業実施形態・内容・予定が変更になる場合があります。  
その際は、改めてお知らせします。  
授業支援システムでならびに下記メールで情報交換を行いたいと思います。  
(注意)  
・受講者全員のスケジュールを勘案し日時設定を行うため、通常授業時間外(休日・長期休業期間など)での授業実施が多くなると思われます。  
・外部組織の都合で日程変更を行うことも予想されますので、授業支援システムでの連絡に注意しておいて下さい。  
・シラバスには現在の予定を記載しますが、受講生の人数や希望により変更も予想されますので、予め了承をお願いします。  
・なお、講義を地域の実態やコースに即したものとするため、現地集合、現地解散を前提とし、直接学外のスポーツ施設に行くことがあります。

## URLリンク

URLリンク 1

URLリンク 2

URLリンク 3

## 授 業 計 画

予定

- 【学内】 オリエンテーション
- 【学外】 海洋スポーツ振興の実際  
大阪府立青少年海洋センター
- 【学内】 健康適性検査実習
- 【学内】 体力測定と堺市民とのふれあい
- 【学外】 堺市運動・スポーツ習慣化推進事業  
堺市民オリンピック
- 【学内】 障がい者のふれあい乗馬体験の実際 (2日)
- 【学外】 障害者のスポーツ振興の実際  
堺市健康福祉プラザ
- 【学外】 堺市地域スポーツ指導者養成講習会聴講  
大浜体育館
- 【学外】 地域大会の運営と実際 (御池台マラソン大会)  
堺市御池台グラウンド (未定)
- 【その他】 未定
- 【学内】 まとめとレポート課題: 地域スポーツ振興の現状と今後の課題